令和 6 年度 関西医療大学 入学試験問題 解答 [公募制推薦選抜Ⅱ期] 国語総合・現代文 B

_	問一	7 1	
		イ 2	3
		ウ 3	①
		エ 4	5
	問二	5	4
	問三	(例) 最初は言葉	- 葉で説明してもらったり、手足を直接動かしてもらったり
			⁾ をつかむが、目の見える仲間に目指すべき形との差異を
			らい、身体感覚だけを頼りに微修正を加えることで技術
		を磨いていく	
	問四	B 試 C 誇	
	問五	6	6
	問六	7	
	問七	(E) 8	
	lu] L		
			<u></u>
		(G) 10	
		(H) <u>11</u>	
		(I) 12	
	問八	13	5
	問九	14	
	問十	15	2
_	問一	16	
	問二	17	5
	問三	B 不体裁 C	ン 幼稚な頭脳
	問四	18	
	問五	19	3
	問六	働くこととは、「	麺麭を得るため」のものではない(23字)
		または	
		あらゆる神聖な労	台力は、みんな麺麭を離れている(22字)
	問七	20	5
	問八	21	4
	問九	22	
		<u> </u>	_

令和6年度 関西医療大学 入学試験問題 解答 [公募制推薦選抜Ⅱ期] 数学Ⅰ・数学A

ア 1 問題1 (1) \uparrow 2 ウ 6 エ 3 オ 5 カ 6 + 7 ク 1 (2)ケー サ 4 \mathcal{A} 2 セ 3 ソ 4 \exists 2 シー 問題2 ア 1 (1)イ ー ウ 2 エ 4 (2)才 2 カ 6 キ 1 ク 0 ケ 4 $0 \le p \le 4$ かつf(0) > f(4)のとき、2 となる。(3)このとき, m = f(a + 1) = -2a(a - 4)M = f(0)となるので, d = M - m $=(a+1)^2$ p = a + 1 \downarrow b, $1 < a \le 3$ \succeq t t t t t t $4 < d \le 16$ となる。 **3** (4)工 1 才 2 問題3 (1) ア 7 イ 3 ウ 1 カ 1 ク 3 丰 8 (2)ケ ③ サ 3 ス 2 セ 1 ソ 2 \exists 2 問題4 (1)(a) ア 5 イ 0 ウ 4 エ 0 オ 1 キ 4 カ 4 ケ 2 (b) ク 7 $\supset 0$ サ 1 シ 4 ス 4 セ 0 (2)チ 2 ツ 0 (a) ソ 3 タ 5 (b) 子ども3人全員が同じグループになるような分け方は,子ども3人 が4人のグループのときは、同じグループの大人1人を4人から選

べばよいので、4通り

プになるので,1通り

35-4-1=30〔通り〕

子ども3人が3人のグループのときは、大人4人が4人のグルー

よって、どちらのグループにも子どもが含まれるような分け方は、

令和6年度 関西医療大学 入学試験問題 解答 [公募制推薦選抜Ⅱ期] 化学基礎

5. 問1 CO のモル質量は 28g/mol より, 7.0g の物質量は,

1, 4

$$\frac{7.0}{28} = 0.25 \text{ [mol]}$$

17

問 4

より,反応する酸素は0.125mol であるから, O_2 のモル質量は32g/mol より,

$$32 \times 0.125 = 4.0$$
 [g]

答 4.0g

問 2 酸素 1.0mol から二酸化炭素は 2.0mol 生ずるので,体積は,

$$22.4 \times 2 = 44.8 = 45$$
 [L]

答 45L

問 3 一酸化炭素は $\frac{28}{28} = 1.0$ [mol] あり、酸素は $\frac{30}{32}$ [mol] と 0.5mol 以上あるので、一酸化炭素がすべて反応した。このとき、二酸化炭素は 1.0mol 生じるので、質量は、 CO_2 のモル質量が 44g/mol より、

$$44 \times 1.0 = 44$$
 [g]

令和 6 年度 関西医療大学 入学試験問題 解答 [公募制推薦選抜Ⅱ期] 生物基礎

2

17

I. 問1 1	3
問 2 形質転換	
問 3 2	4
問 4 3	4
問 5 4	①, ⑤
	_
Ⅱ. 問1 5	4
問 2	2
問 3 7	4
問 4	5
9	7
10	1
11	2
問 5 D 細胞性免疫	
E 体液性免疫	
Ⅲ. 問 1 12	3
問 2 13	4
問 3 14	4
問 4 15	1
問 5	2

問 6

問 7

右心房

令和 6 年度 関西医療大学 入学試験問題 解答 [公募制推薦選抜 II 期] コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・英語表現 I

Ι.	 2. 	(イ) 1 4 (ロ) 2 6 (ハ) 3 2 (二) 4 3 (ホ) 5 1 (へ) 6 5 (A) 7 1 (B) 8 4
		(C) 9 2 (D) 10 3 (E) 11 5
	3.	(a) better
	4.	(b) easier(X) 教授たちによると、教師は ChatGPT を利用することで、生徒の学習意欲を高めたり、不正を防止したりできるという。
		(Y) 生徒の自信を向上させる重要な方法は、彼らに成功を体験する機会
		を与えることである。
	5.	12 ②
П.	(1)	13 ②
	(2)	14 ③
	(3)	15 ②
	(4)	16 ①
	(5)	<u>17</u> ④
	(6)	18 ③
	(7)	19 4
	(8)	20 4
	(9)	
	(10)	<u>22</u> ②